YAMAHA

J

CD-S300

CD プレーヤー



ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

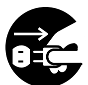
電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- **異常なにおいや音がする。**
- **異常に高温になる。**
- **内部に水や異物が混入した。**
- **煙が出る。**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- **重いものを上に載せない。**
- **ステープルで止めない。**
- **加工をしない。**
- **熱器具には近づけない。**
- **無理な力を加えない。**

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



本機を下記の場所には設置しない。
- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



放熱のため本機を設置する際には:
- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(本機の周囲に左右2.5cm、上2.5cm、背面2.5cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。



本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。

接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ



電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

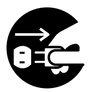
⚠ 注意

電源/電源コード



必ず付属の専用電源コードを使用する。

専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因になります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



電池は極性表示(プラス+とマイナス−)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯・保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



音が歪んだ状態で長時間使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



ディスクの挿入口には手を入れない。

本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。

ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。



業務用機器とは接続しない。

デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

手入れ



手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。



薬物厳禁

ベンジン・シンナー等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

目次

■ 本機の特長

- 光デジタル出力端子
- 同軸デジタル出力端子
- CD-R、CD-RW ディスクの再生（☞8 ページ）
- MP3/WMA ディスクの再生
- USB デバイスに保存された MP3/WMA ファイルの再生（☞8 ページ）
- iPod を接続しての再生
- プログラム再生（Audio CD のみ）
- ランダム再生
- リピート再生（1 曲 / フォルダ / 全曲）
- A-B リピート（Audio CD のみ）
- ディスプレイの設定機能（表示内容 / 明るさ）
- ピュアダイレクトモード

■ 付属品

ご使用の前に、付属品を確認してください。

- 電源コード
- リモコン
- 単 3 乾電池（2 本）
- ステレオピンケーブル

■ 乾電池に関するご注意

- リモコンの操作可能範囲が極端に短くなってきたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。
- 単 3 乾電池をご使用ください。
- 極性（+/ −）があっているかよくご確認ください。乾電池の向きを電池ケース内の表示にあわせてください。
- リモコンを長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り外してください。
- 新しい乾電池と、古い乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池には、形状や色が同じものでも種類が異なるもの（アルカリとマンガンなど）があります。表示をよく読んで、種類の異なる乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池が液もれした場合は、液に触れないよう注意して廃棄してください。液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。
- 乾電池を一般のゴミといっしょに捨てないでください。地域のきまりに従って正しく処置してください。

■ リモコンの取り扱いに関するご注意

- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコンに水などの液体をこぼさないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンを下記のような場所に放置したり保管したりしないでください。
  - 浴室などの湿気の多い場所
  - ヒーターやストーブの近くなどの高温になる場所
  - 温度が極端に低い場所
  - ホコリの多い場所
- 本機のリモコン受光部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）が当たっていると、本機をリモコンで操作できないことがあります。このような場合は、照明の向きを変えるか、本機を置く場所を変えてください。

■ 本書の記載について

- 「ご注意」は操作、設定を行う際に留意すべき事項、☀ は知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は音楽 CD を「Audio CD」、MP3/WMA ディスクを「Data Disc」、USB デバイスに保存された MP3/WMA ファイルを「USB」と記載しています。
- 各操作で使用できる音楽データの形式を Audio CD（音楽 CD）、Data Disc（MP3/WMA ディスク）、USB（USB デバイス）とアイコンで表しています。
- 本書は製品の生産に先がけて印刷されています。製品改良などの理由で、実際の製品と仕様が一部異なる場合があります。また、仕様は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

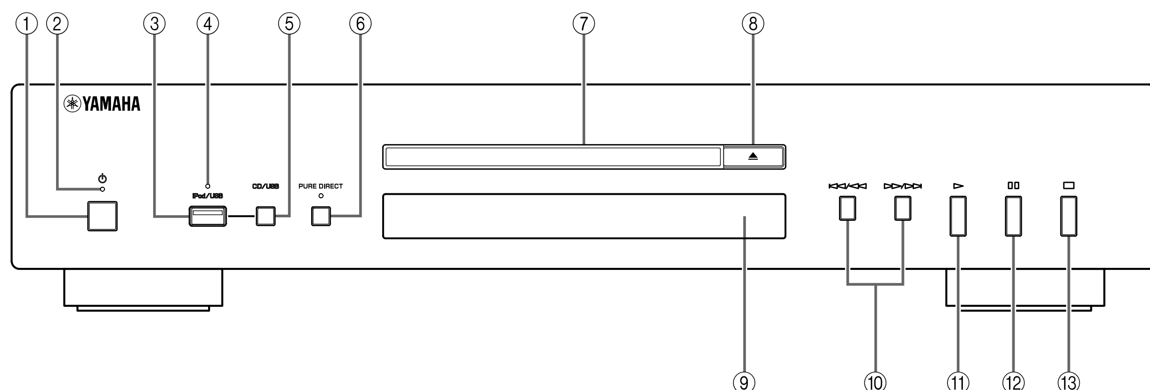
音を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

各部の名称とはたらき

フロントパネル



① ⏻（電源）スイッチ
本機の電源を ON（オン）/OFF（オフ）します。

② 電源インジケーター
本機の電源がオンのとき点灯します。

③ iPod/USB ポート
iPod または USB デバイスを接続します（☞6 ページ）。

④ iPod/USB インジケーター
消灯：ディスクモードが選択されています。
オレンジ：接続待機。
緑：iPod または USB デバイスが接続され、再生可能なファイルが認識されています（再生準備完了）。

⑤ CD/USB ボタン
ディスクモードと iPod/USB モードを切り替えます（☞6 ページ）。



iPod/USB インジケーターが消灯しているときはディスクモードです。

⑥ PURE（ピュア） DIRECT（ダイレクト） ボタン／インジケーター
PURE DIRECT をオンにすると、高音質な再生が楽しめます。



- PURE DIRECT インジケーターが点灯します。
- リアパネルの光デジタル出力端子（☞3 ページ）から信号が出力されなくなります。
- フロントパネルのディスプレイは、コンテンツ再生中は消灯し、操作中は最小限のインジケーターやメッセージのみが表示されます。

ご注意

PURE DIRECT モードを使用するときは、アナログ出力端子を使って接続してください（☞3 ページ）

⑦ ディスクトレイ
ディスクをセットします。

⑧ ⏏（開閉）ボタン
ディスクトレイを開閉します。

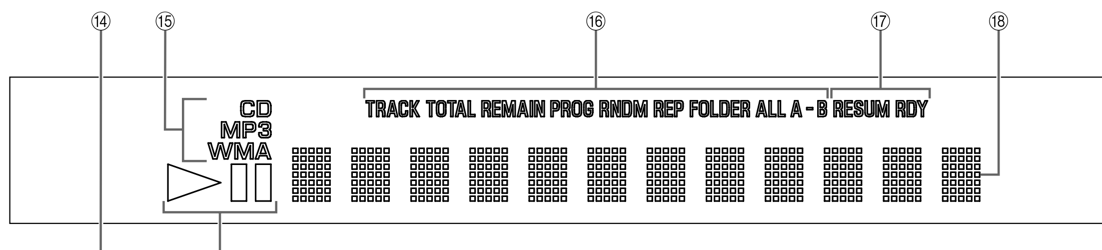
⑨ リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

⑩ ⏮/◁◁（頭出し / 早戻し）
▷▷/⏭（頭出し / 早送り）
トラックの頭出しをします。
▷▷/⏭：次のトラックに頭出しします。
⏮/◁◁：現在再生中のトラックの先頭に頭出しします。
⏮/◁◁（2 回）：前のトラックに頭出しします。
⏮/◁◁または▷▷/⏭を長押しすると早戻しまたは早送りします。

⑪ ▷（再生）ボタン
再生を開始します。

⑫ ▯▯（ポーズ）ボタン
再生を一時停止します。▷または▯▯を押すと再生が始まります。

⑬ □（停止）ボタン
再生を停止します。



⑭ ⊳（再生）/ ▯▯（ポーズ）インジケーター

再生／一時停止時に点灯します。

⑮ ディスクインジケーター

再生中のディスクやデータの形式を示します。

⑯ 時間・モード表示インジケーター

ディスプレイに表示される時間表示の状態や現在の再生モードを示します（☞5 ページ）。

⑰ 拡張モードインジケーター

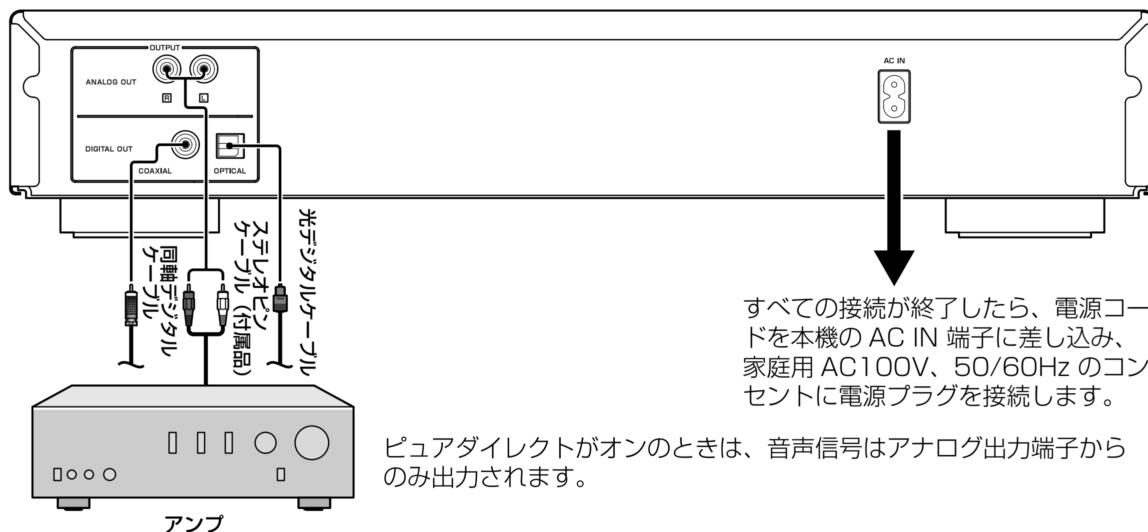
オンになっている拡張モードを示します（☞9 ページ）。

⑱ ディスプレイ

リアパネルの接続

重要

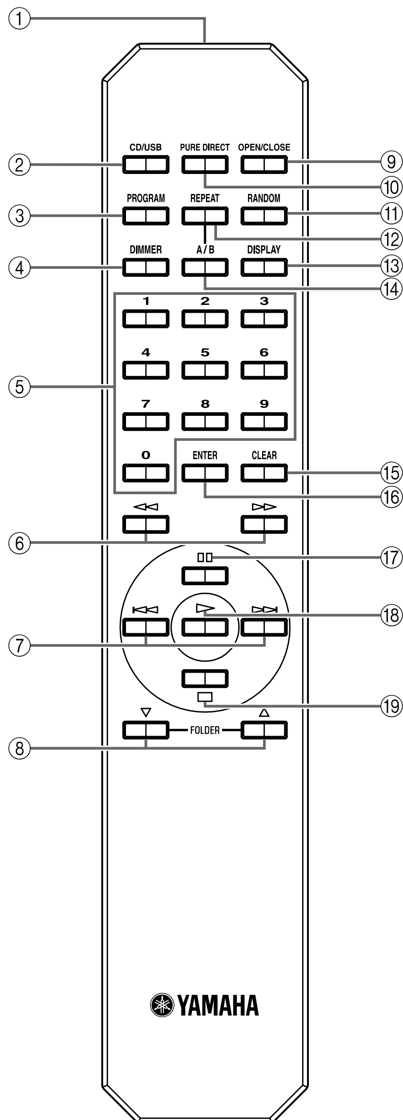
接続をはじめる前に、本機および接続する機器の電源コードが、コンセントに接続されていないことをご確認ください。



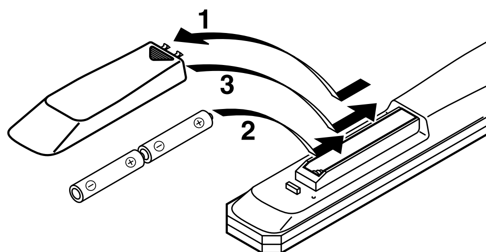
すべての接続が終了したら、電源コードを本機の AC IN 端子に差し込み、家庭用 AC100V、50/60Hz のコンセントに電源プラグを接続します。

ピュアダイレクトがオンのときは、音声信号はアナログ出力端子からのみ出力されます。

リモコン



■ リモコンに電池を入れる



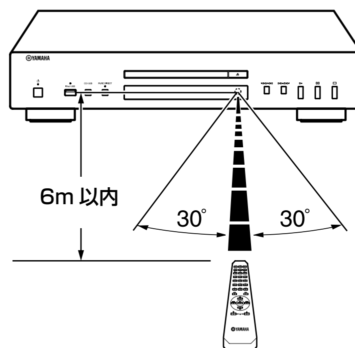
1 バッテリーカバーの▽マークを押しながら、カバーをリモコンから取り外す。

2 電池ケース内に記載されている極性（＋／－）にしたがって、単 3 乾電池（2 本）を、電池ケースに挿入する。

3 バッテリーカバーをリモコンに装着する。

■ リモコンを使用する

リモコンは指向性のある赤外線を送信します。リモコンは必ず本体のフロントパネルのリモコン受光部に向けて操作してください。



① 赤外線送信部

本体に向けて赤外線信号を送出します。

② CD/USB ボタン

ディスクモードと iPod/USB モードを切り替えます（☞6 ページ）。



この設定は本機の電源をオフにした後も保持されます。

③ PROGRAM（プログラム）ボタン

プログラム再生モードをオン／オフします。詳しくは次ページの「プログラム再生」をご覧ください。

④ DIMMER（ディマー）（調光）ボタン

押すたびにディスプレイの明るさが 4 段階で変化します。



この設定は本機の電源をオフにした後も保持されます。

⑤ 数字ボタン

トラック番号で曲を直接選択するときに使用します。

⑥ ◁◁（早戻し）、▷▷（早送り）ボタン

押している間、曲を早戻しまたは早送りします。

⑦ |◁◁、▷▷|（頭出し）ボタン

▷▷|：次のトラックに頭出しします。
|◁◁：現在再生中のトラックの先頭に頭出しします。
|◁◁（2 回）：前のトラックに頭出しします。

⑧ ▽、△（フォルダ）ボタン

Data Disc USB

▽：前のフォルダに移動します。
△：次のフォルダに移動します。
（☞6 ページ）

⑨ OPEN/CLOSE（開閉）ボタン

ディスクトレイを開閉します。

⑩ PURE（ピュア） DIRECT（ダイレクト） ボタン

PURE DIRECT をオンにすると、高音質な再生が楽しめます（☞2 ページ）。



この設定は本機の電源をオフにした後も保持されます。

⑪ RANDOM（ランダム） ボタン

ディスク内の曲を順不同で再生します（ランダム再生）。

ご注意

ディスクを取り出すと、ランダム再生は解除されます。

⑫ REPEAT（リピート） ボタン

１曲または全曲をリピート再生します。再生中に REPEAT を押すたびに、リピート再生は下記のように切り替わります。

- REP TRACK（一曲リピート再生）：再生中の曲を再生し終えると、その曲の先頭から再生を繰り返します。
- REP ALL（全曲リピート再生）：ディスクの最後の曲を再生し終えると、ディスクの最初の曲から再生を繰り返します。

Data Disc USB

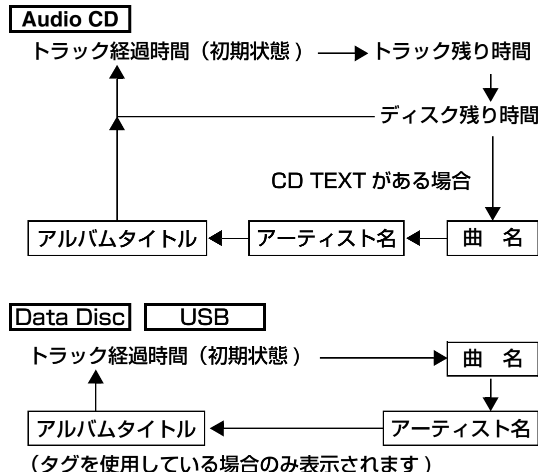
- REP FOLDER（フォルダリピート再生）：フォルダの最後の曲を再生し終えると、フォルダの最初の曲から再生を繰り返します。



プログラム再生中またはランダム再生中もリピート再生できます。

⑬ DISPLAY（ディスプレイ） ボタン

押すたびに、次のように表示されます。



⑭ A/B ボタン Audio CD

再生中に開始位置と終了位置を指定して、その部分を繰り返し再生することができます。
A-B リピート演奏をやめるには、もう一度 A/B を押します。

ご注意

- 曲をまたいだ A-B リピートの設定はできません。
- Data Disc と USB ではこの機能を使用できません。
- □（停止）を押して再生を停止すると、A-B リピートは解除されます。
- PURE DIRECT モードがオンの時に、この機能は使用できません。

⑮ CLEAR（クリア） ボタン

プログラム編集モード時に、最後にプログラムされているトラックを消去します。

⑯ ENTER（エンター）（入力）ボタン

プログラム編集モード時に、数字ボタンで選んだトラック番号を確定します。

⑰ ▯▯（ポーズ）ボタン

再生を一時停止します。▷または▯▯を押すと再生が始まります。

⑱ ▷（再生）ボタン

再生を開始します。

⑲ □（停止）ボタン

再生を停止します。

プログラム再生 Audio CD

プログラム再生モードでは、トラックをプログラムした順番で再生できます。

1　再生を停止している間に PROGRAM を押す。
本機がプログラム編集モードにセットされます。

2　数字ボタンを使用してトラックを１つ選び、ENTER を押して確定する。

3　手順 2 を繰り返して次のトラックを入力する。
最大で 24 個のトラックまでプログラムできます。



プログラムした曲を消去したい場合は、編集モード時に CLEAR を押してください。最後にプログラムした曲から順に消去されます。

4　▷を押す。
プログラムした順序で再生が始まります。



プログラム再生が停止しているときに CLEAR を押すと、プログラムされたトラックをすべて消去できます。

ご注意

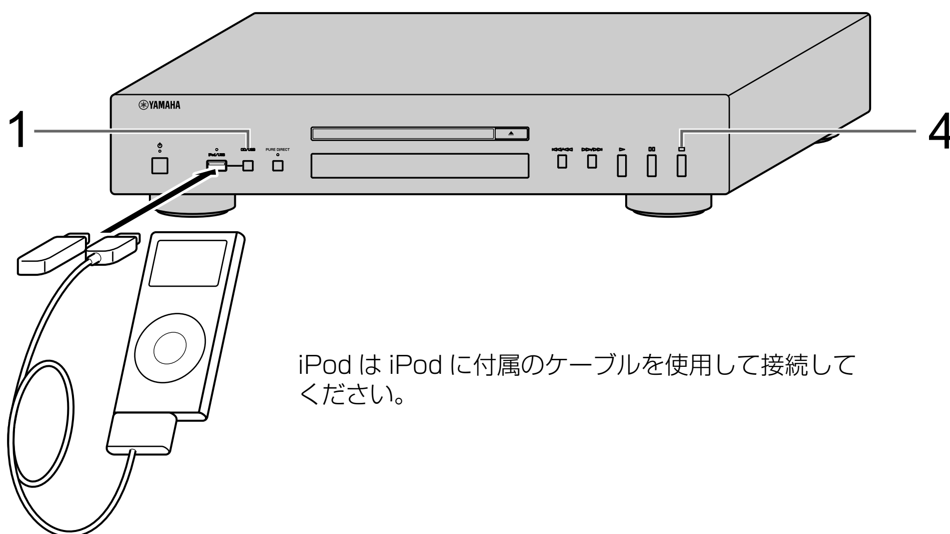
ディスクを取り出したり、本機の電源をオフにすると、プログラムされたトラックはすべて消去されます。

iPod/USB デバイスの再生

iPod/USB デバイスを接続する

ご注意 iPod

・iPod の接続には、iPod に付属のケーブルを使用してください。ケーブルが付属していないときは、アップルジャパン株式会社からお買い求めください。
・iPod の電源はオフにしておいてください。
・USB ハブは使用しないでください。



iPod は iPod に付属のケーブルを使用して接続してください。

iPod を再生する

1 CD/USB を押して、iPod/USB モードに切り替える。
フロントパネルの iPod/USB インジケーターがオレンジに点灯し、再生準備が完了すると緑に変わります。

2 再生を開始する。
iPod を操作して、再生、選曲、一時停止、停止などを行います。



本機及びリモコンの次のボタンも使用できます：▷（再生）、⏸（一時停止）、□（停止）、⏮、⏭（頭出し）、◁◁（早戻し）、▷▷（早送り）

ご注意

iPod のソフトウェアが古いと正常に動作しないことがあります。必ず最新の iPod ソフトウェアでお使いください。

USB デバイスを再生する

1 CD/USB を押して、iPod/USB モードに切り替える。
フロントパネルの iPod/USB インジケーターがオレンジに点灯し、再生準備が完了すると緑に変わります。

2 再生を開始する。
デバイス内に再生可能なファイルがあれば 1 曲目のファイル名が表示され、ファイルの作成日時順に自動的に再生が始まります。

ご注意

ディスプレイには、英数字と一部の記号のみ、64 文字まで表示されます。日本語は対応しておりません。

3 選曲する。
フォルダの選択：リモコンのフォルダ▽（前のフォルダに移動）、△（次のフォルダに移動）ボタンを押します。
曲の選択：⏮、⏭ ボタン、または数字ボタンを押します。

4 停止する。
□（停止）を押します。

再生可能な MP3/WMA ファイルの詳細は、ページ 8 を参照ください。

iPod/USB デバイスを取り外す

再生を停止してから、iPod や USB デバイスを取り外してください。CD/USB キーを押して一旦モードを CD モードへ切り替え、USB インジケーターが消灯するのを確認してからデバイスを抜くことをお勧めします。

重要

再生中、またはフロントパネルのディスプレイに“USB READING”が表示されている間は、iPod や USB デバイスを取り外さないでください。

本機で使用できる iPod/USB デバイス

■ 本機で使用できる iPod

- iPod classic, 120GB classic
- 2G nano, 3G nano, 4G nano
- iPod touch, 2G iPod touch
  (2009 年 4 月現在)

ご注意

- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 本機と iPod を組み合わせてご使用の際、iPod のデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。データの不具合に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。

■ 本機で使用できる USB デバイス

本機で USB デバイスに保存された音楽ファイルを再生する際は、以下のことをご確認ください。

- USB マスストレージクラスに対応したフラッシュメモリ、カードリーダー、ポータブルオーディオプレーヤーなどである。
- データが FAT16 または FAT32 ファイルシステムで記録されている。

ご注意

- お使いの USB デバイスによっては正常に作動しないことがあります。
- 暗号化機能付きの USB メモリーは使用できません。
- USB マスストレージクラス以外のデバイス（USB チャージャーや USB ハブ、PC、外付け HDD など）は本機に接続しないでください。
- USB ポートに接続されているカードリーダーに複数のメモリーカードを同時に挿入した場合、1 つのメモリーカードのみ認識されます。
- ヤマハ、および販売店では、本機に接続した USB デバイスに記録されているデータの消失に関して責任を負いかねます。データの消失に備え、データのバックアップをとっておくことをおすすめします。
- すべての USB デバイスに対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。

再生できるディスク／ファイルフォーマット

■ 再生できる MP3/WMA ファイル(USB およびディスク)

MP3

フォーマット	ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)
MPEG 1 Audio Layer-3	32-320 *	32/44.1/48
MPEG 2 Audio Layer-3, 2	8-160 *	16/22.05/24
MPEG-2.5 Audio Layer-2	8-160 *	8/11.025/12

* 固定ビットレートおよび可変ビットレートに対応しています。

WMA

- バージョン : 8
- バージョン : 9(標準 / 可変ビットレート対応、Professional and Lossless 非対応)

プロファイル	ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)
High Profile	32-320 *	32/44.1/48
Mid Profile	16-32	16/22.05

* 固定ビットレートおよび可変ビットレートに対応しています。

ご注意

- Data Disc はファイルをアルファベット順に再生します。
- USB デバイスはファイルの作成日時順に再生します。
- 本機では、著作権保護された WMA(DRM)ファイルは再生できません。
- 本機は ISO9660 フォーマットのディスクに対応しています。
- 可変ビットレートのファイルを再生中は、経過時間が正確に表示されないことがあります。

	Data Disc	USB
最大ファイル数	999	32767
最大フォルダ数	256	256
1 フォルダ当たりの最大ファイル数	512	512

■ 再生できるディスク

下記のマークが付いたディスクをお使いください。



.... コンパクトディスク(オーディオ CD)









.... CD-R、CD-RW ディスク

- 下記のいずれかの表示のあるディスク。
  FOR CONSUMER
  FOR CONSUMER USE
  FOR MUSIC USE ONLY
- CD-R または CD-RW はファイナライズされたディスクのみ再生できます。

ご注意

一部の CD-R/CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。



.... CD-TEXT ディスク

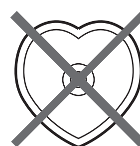
アルバム名、曲名、アーティスト名などの文字情報が記録されたディスクです。経過時間に加え、上記の情報(英数字と一部の記号のみ)が表示されます。

8 センチ CD を再生するには

ディスクトレイの内側のくぼみに 8 センチ CD をセットしてください。また、8 センチ CD の上に 12 センチ CD を重ねて置かないでください。

ご注意

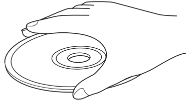
- 上記以外のディスク (変形ディスクも含みます。) はご使用にならないでください。
  上記以外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクの破損や本機の故障の原因となる場合があります。



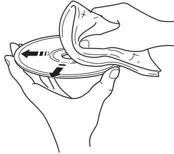
- テープやシールを貼ったディスクは使用しないでください。ディスクトレイの開閉不良や本機の故障の原因となる場合があります。
- 一部の CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。

■ ディスクの取り扱い

- 記録面に傷をつけないよう、注意して取り扱ってください。ディスクを折り曲げないでください。



- 記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、またはその他の化学薬品などで絶対にディスクを拭かないでください。
- レーベル面に文字を書くときは、先の軟らかいペンを使用してください。
- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置かないでください。

お知らせ

使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。誤動作の原因になるため市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

拡張モードについて

本機には、店舗やオフィスでの使用に便利な 2 つの拡張モードが用意されています。

ご注意

これらの拡張モードは、iPod 使用時には動作しません。

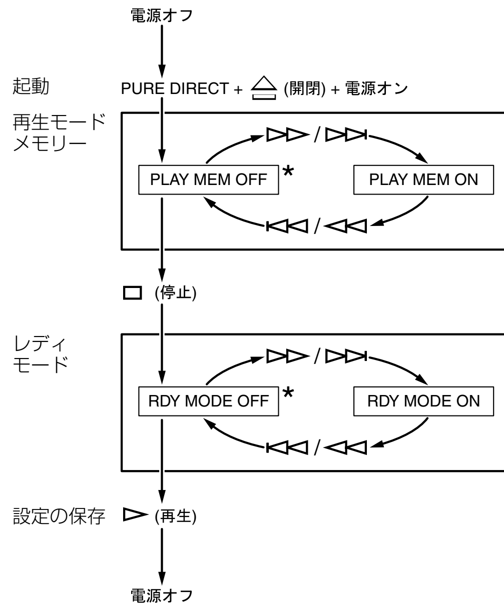
再生モードメモリー

本機の電源をオフにしても、現在の再生モード（リピート再生およびランダム再生）が保持されます。そのため電源をオンする度に再生モードを再設定する手間が省けます。
また再生モードメモリーをオンにした状態で電源をオンした場合には、前回終了したトラックまたはファイルの頭から自動再生を開始します。
再生モードメモリーをオンにすると、ディスプレイの RESUM インジケーターが点灯します。

レディモード

1 曲の再生が終了するたびに一時停止します。次の曲を任意のタイミングで再生開始することができます。
レディモードをオンにすると、ディスプレイの RDY インジケーターが点灯します。

拡張モードの設定は、次の手順で行います。設定にはフロントパネルのボタンを使用してください。



次回電源をオンにすると、ここで設定した内容で本機が起動します。

付録

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点まで、お問い合わせください。

症状	原因	対策	参照ページ
電源スイッチを操作しても電源が入らない	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントに差し込み直してください。	3
ディスクトレイが完全に閉まらない	ディスクトレイに異物が入っている。	ディスクトレイを確認し異物を取り除いてください。	—
ディスクを入れても再生できない	ディスクに傷がある。	ディスクを交換してください。	—
	本機内部のレンズが結露している。	本機をオンにして 20 ～ 30 分待ってから再度ディスクを再生してください。	—
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。	—
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。	9
	本機が対応していないフォーマットの MP3 または WMA ファイルを再生しようとしている。	本機が対応しているフォーマットで記録されたディスクと交換してください。	8
	正しく録音されていない CD-RW ディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	8
	本機が対応していない規格外のディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	8
	本機が iPod/USB モードになっている。	CD/USB を押して、ディスクモードにしてください。	2、6
iPod を接続しても再生できない	iPod が対応していない。	対応する iPod を接続してください。 対応する iPod は以下の通りです。 ・iPod classic、120GB classic ・2G nano、3G nano、4G nano ・iPod touch、2G iPod touch （2009 年 4 月現在）	7
USB デバイスの再生ができない	USB デバイスが正しく接続されていない。	USB デバイスを接続しなおしてください。	6
	本機が対応していないフォーマットの MP3 または WMA ファイルを再生しようとしている。	正しく録音され、本機に対応したファイルを使用してください。	8
	本機がディスクモードになっている。	CD/USB を押して、iPod/USB モードにしてください。	2、6
再生が遅れて始まったり、正しくない位置から始まる	ディスクに汚れや傷がある。	ディスクをクリーニングするか、傷のないディスクに交換してください。	9
音が出ない	出力ケーブルの接続が正しく接続されていない。	出力ケーブルの接続を確認してください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	3
	アンプの操作が間違っている。	アンプの入力を確認してください。	—
デジタル端子に接続した機器から音声が再生されない	PURE DIRECT がオンになっている。	PURE DIRECT をオフにしてください。	2
音飛びをする	本機が振動や衝撃を受けている。	設置場所を変えてください。	—
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。	9

症状	原因	対策	参照ページ
ブーンというハム音が入る	ステレオピンケーブルがしっかり接続されていない。	ステレオピンケーブルをしっかり差し込んでください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	3
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い。	チューナーから遠ざけるか、または本機の電源を切ってください。	—
ディスクトレイから雑音がする	ディスクが変形している。	変形のないディスクに交換してください。	—
リモコンでは操作できない	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	4
	操作する位置が本体から遠すぎるか、または角度が正しくない。	リモコンは本体から 6m 以内で、また本体正面より左右それぞれ 30° 以内の角度で操作してください。	4
	受光部に強い日光や照明（インバーター蛍光灯など）が当たっている。	受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置を変えてください。	—

主な仕様

周波数特性

- 周波数特性 .... 2 Hz ～ 20 kHz, ± 0.5 dB
- 高調波歪率 （1 kHz） .... 0.003% 以下
- S ／ N 比（EIAJ） .... 105 dB 以上
- ダイナミックレンジ .... 96 dB 以上
- 出力電圧 （1 kHz, 0 dB） .... 2.0 ± 0.3 V

レーザー部

- レーザータイプ .... GaAlAs
- 波長 .... 790 nm
- レーザー出力 .... 最大 1.23 μW

総合

- 電源 .... 100V, 50/60 Hz
- 消費電力 .... 13 W
- 外形寸法（W × H × D） .... 435 x 86 x 260 mm
- 質量 .... 3.5 kg

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更をすることがあります。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。JIS C61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第 3-2 部：限度値ー高調波電流発生限度値（1 相当あたりの入力電流が 20A 以下の機器」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

iPod ™

iPod は、米国およびその他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。

「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。

アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

本機の設置や設定、操作に関するお問い合わせ

■ ヤマハお客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日10：00～18：00　土曜日10：00～17：00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受付：月～金曜日9：00～18：00　土曜日9：00～17：00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

修理お持ち込み窓口
受付：月～金曜日9：00～17：45
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053)462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**

技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、
一般管理費等が含まれています。

部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する
部材等を含む場合もあります。

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

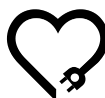
● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！


愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

Printed in Malaysia WS19220